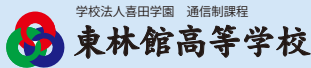


「教えて喜田先生!」子育てに悩む パパ&ママを応援!



学校法人喜田学園 通信制課程

東林館高等学校

- ◎3年で高校卒業を目指すコース
 - ◎受験対応個別指導コース
 - ◎中学生コース・社会人コース
- 目的に合わせた幅広い学びを提供しています

福山市光南町1-1-35
TEL.084-923-4543
FAX.084-926-9607



●福山駅南口から徒歩で約10分

東林館 福山

検索

●9歳の壁

「9歳」は実に多感で、子どもにとっては最初に訪れる激変の時期だと私は思っています。これを一般に「9歳の壁」と呼び、9歳を境に、子どもは内的要素と外的要素の外部からの評価が完全に入れ替わっていくのです。

9歳までは、特に親以外の大人や、おじいちゃん、おばあちゃん、親戚のおじさんやおばさん、近所のおじさんやおばさんたちも、ただただ体が大きくなったこと、身長が伸びたことを褒めてくれます。「おっーちよっー見ない間に大きくなったな〜」といった具合です。

しかしながら9歳を境に、この内的要素への褒め言葉はどんどん減っていく。代わりに、勉強ができる、スポーツができる、楽器ができるなど外的要素への成長を求められます。「おっーその歳で英語習ってるんだな!」「○○ちゃんは、ピアノがとっても上手なんですってね〜」といった具合です。

この、ただ単に時間を重ねて体が成長

学び・自立支援を通して 子どもの未来を創ります

喜田 紘平

東林館高等学校 理事長
実践心理学カウンセラー

していただくだけでは、褒めてもらえなくなる境目が9歳くらいかなと私は思っています。加えて、小学3年生あたりから特に算数において、分数・小数という概念の教育が始まります。

これまで、例えば「1+1=2」という1つと1つが合わさると2つになるといふ、目の前で実際に見てイメージできる教育内容だったものから、3分の1とか0・1とか頭の中で想像しないと理解できない概念教育が始まり、勉強のレベルが一気に上がるのが9歳くらいなのです。なので、9歳くらいから最初に不登校になり始め、不登校傾向が続く子が少なからずいます。

9歳の壁を上手に通過するには、時々で良いので子どもの体や心の成長も周りの大人、特に親が喜んであげることが大切です。時々我が子を抱きしめて「大きくなってくれてありがとう」「元気に育って嬉しい!」と我が子が成長する姿を親として喜ぶことです。親からそう言われて育った子は、自尊心や自己肯定感が大きく育まれていきます。